

リモートメンテナンスシステム

リモートメンテナンスシステム：RMS（遠隔診断システム）とはJRCのJCY-1900/1800 VDR装置をリモートメンテナンスサーバーとして利用することで実現されるJRC独自の航法機器、通信機器のリモート診断機能です。船陸間通信はインマルサットFleet Broadband JUE-501/Global Xpress JUE-60GXの衛星回線を利用し、船陸間はセキュアなシステムで通信します。JRCの各航法機器・通信機器には自己診断機能を含んだリモートメンテナンス機能が組み込まれているため、専用の装置を追加することなくRMSを導入可能です。

リモートメンテナンスシステムのメリット

◆メリット1 運行スケジュールの維持

リモートアクセス機能によりJRCの専門技術スタッフが船上に搭載されている各機器を乗組員の方々の操作無しに確認することが可能です。装置故障の際は乗組員の方々に負担を掛けることなく故障原因の究明が可能です。

◆メリット2 保守費用の削減

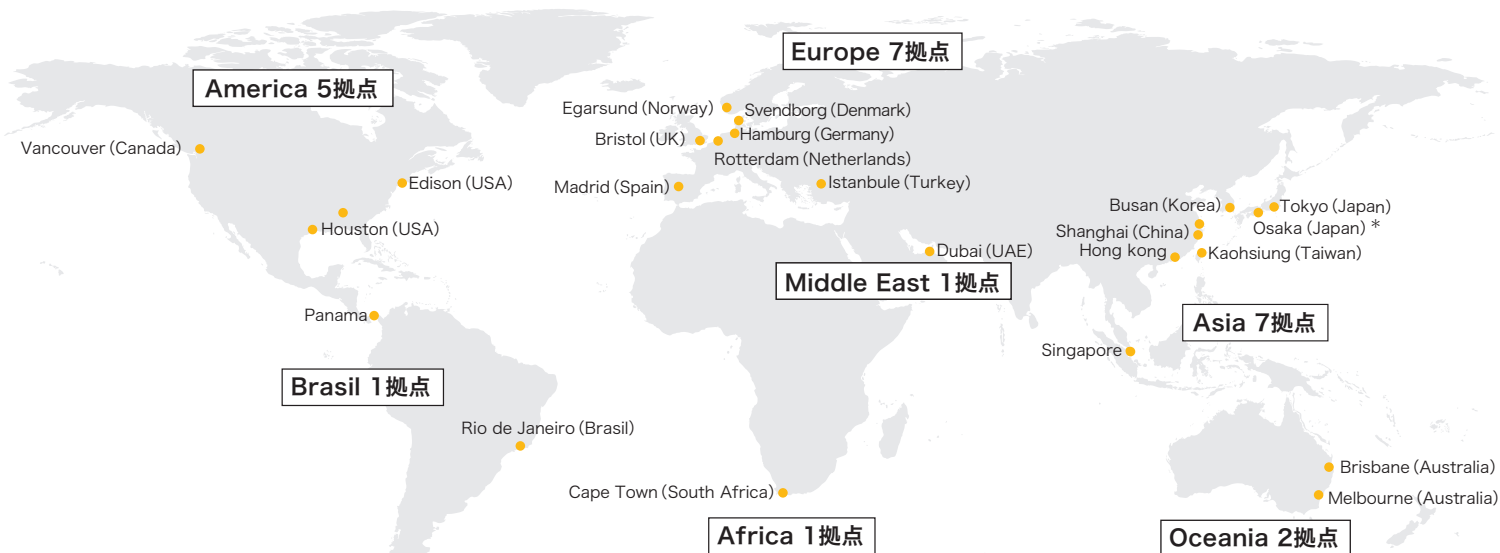
装置故障の際、事前に各装置の現状を確認することで、原因対策を検討し、必要部品を的確に手配することが可能です。故障状況を調査するための技術者派遣を最小限にすることができ、保守費用の削減が可能です。

◆メリット3 予防メンテナンス

JRCサポートセンターには各機器の最新の状態と過去の履歴が蓄積されており、状態のトレンドを分析することで予防メンテナンスが可能です。例えばレーダーのマグネトロンの使用時間を監視することで事前に交換時期が判断できます。

JRCグローバルサービスネットワーク

JRCは創業以来、製品の販売と同時にフィールドでのアフターサービスを積極的に行ってまいりました。今日、JRCは支店・営業所および全世界200以上の認定代理店を結ぶ世界規模のネットワークで1年365日、24時間体制のサービスを提供しております。



*: 2020年4月対応予定。

※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。



注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。



日本無線株式会社

JRCウェブサイト <https://www.jrc.co.jp/>

辰巳事業所 〒135-0053 東京都江東区辰巳1-7-32
マリンシステム営業部 ☎(03) 5534-1115 (ダイヤルイン)

函館支店	〒040-0065 函館市豊川町10-6	☎(0138) 22-5855
仙台支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアビルズ	☎(022) 781-6173
関西支店	〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ	☎(06) 6344-1633
九州支店	〒812-0024 福岡市博多区綱場町4-1 福岡RDビル	☎(092) 262-2141
釧路	稚内	八戸
焼津	高知	長崎
鹿児島	釜山	上海
台北	マニラ	ハノイ
シンガポール	ジャカルタ	ロッテルダム
アテネ	エーゲルズン	ニューヨーク
ヒューストン	リオデジャネイロ	

54JM

2020年4月作成

ISO9001, ISO14001 認証取得

© 2008.5 CAT.No.A223 (No.694-5-0) D

リモートメンテナンスシステム (RMS)



船上機器を衛星経由で遠隔診断し、タイムリーなサービスをお届けします。

- JCY-1900/1800 VDR標準機能
- 衛星回線を利用したリモートアクセス機能
- セキュアな船陸間通信システムを採用
- 入港を待たずに専門技術スタッフが直接遠隔診断



日本無線

VDRに接続される当社機器の動作を専門技術スタッフが直接診断、入港時にタイムリーな対応が可能です。

↓ リモートメンテナンスサーバー (標準組込み)

↓ リモートメンテナンス対応可能 JRC 航法機器・通信機器



船陸間の相互通信で船上各機器の最新状態をモニタリング。
各機器の最新状態をJRCサポートセンターで解析します。